



にじいろ通信 No.48

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
MAIL:niji-iro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

「節分」から春を感じる毎日です♪

未就学児童に対する「児童発達支援」を始めました。利用児童募集中です!!

「事実の声掛けの大切さ」

児童発達支援管理責任者 齋藤 真知子

昔から嘘も方便と言いますが、子どもが小さい頃に「早く寝ないと〇〇が来るよ!!」などと嘘の上に少し脅しをかけて子どもを寝かせていたことがあります。嘘も方便が分かる今となっては笑い話ですが、まじめに言葉通りにくみ取ってしまう子どもたちへの声掛けとしては良くないと思います。「走ると転ぶよ!!」「落ちるとケガするからやめなさい」などと、簡単に言葉にしていますか?意外に「〇〇したら××になる」と使ってしまうがち。もちろん支援者は、子どものことが心配で心配でそういった声掛けになってしまいます。よくわかります。でも、言葉通りに走った後に転んでもいなければ、落ちてケガはしてい



2/2の節分では、大地に鬼が出たと言うので、鬼退治に出かけました。にじいろ鬼殺隊の子どもたちは鬼をやっつけるために全集中です!!



2/11 はバレンタインチョコ作りです。チョコと生クリーム混ぜて型に流し入れたり、イチゴにチョコをつけたり色々なチョコを作りました。味見が得意な子どもたちです。



今日は紙コップを使って声コプター製作です。一生懸命、お話を聞く子どもたち。「おーい」と大きな声を出して、プロペラを回すことが出来たね♪

いないのです。個人的な話ですが、主人が私に「お前はいつもこぼすんだから、きちんと食べるよ」とこぼす前からうさく言います。え?まだこぼしていないし、こぼしたら自分で拭けますけど、と思います。起きてもないことを言われても困りますし不愉快になります。このように、言葉で注意したことで「これで大丈夫」という感覚を持っているのでしょうか。これでは何の解決にもなりません。危険な行動は一緒にやる、守る。どうすれば転ばないのか、転んだ時にどうするのか、落ちないために何に気をつけたらいいのか、事実を伝えていくべきです。さらに、子どもたち本人が気が付ける声掛けの方がいいですよ。「自転車走ってくるよ!!端っこによけてねー」と利根川の土手を散歩している時の声掛けです。事実を伝える事が子ども達には一番伝わるのではないのでしょうか。



赤鬼青鬼がうろうろしています。みんな戦うぞ~!!



うふふ。鬼に捕まっても何だかとても楽しくて笑っちゃいます。



最後は「鬼は~そと」の掛け声と豆を投げて、参ったと鬼は退散しました。

- ★3月のにじいろ 2日:運動活動「障害物」 3日:余暇活動「ひな祭り神経衰弱」 5日:レク「ボール転がし」
- 10日:余暇活動「スティックチャレンジ」 19日:レク「チームで協力ボール転がし」
- 26日:理科実験「資格の不思議ペンハムゴマ」

★にじいろで欲しいもの トランポリン レゴブロック アイロンビーズ 跳び箱 バランスボール

★ありがとうございました 横田様:ジュニアシート 平井様:お菓子